

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果の分析と対策について

西川町教育委員会

校種・教科	全国との比較	分析結果 全国平均と比べて特に（○）正答率が高い学習内容 （▲）低い学習内容	対策・改善策
小学校 国語	全国平均を下回る	<p>○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、相互の関係に注意したりして、文章構成を考えることができる。</p> <p>○漢字を分の中で正しく使うことができる。</p> <p>○目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。</p> <p>▲情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。</p> <p>▲自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。</p> <p>▲時間の経過や世代による言葉の変化や違いに気づくことができる。</p>	<p>□ インタビューなどの場面で、聞くことを具体的に考え、関係する質問を整理しておくようにする。メモなどの記録を確認して、囲んだ丸や四角、つないだ線の意味について共有する機会も設定するようにする。</p> <p>□ 複数の資料を結び付けたり、文章と図表を結び付けたりしながら、必要な情報を明確にして読む（自分で読む目的に立ち返り、必要な情報を再確認して読み直す）ようにする。</p>
中学校 国語	全国平均を大きく上回る	<p>○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。</p> <p>○相手の反応を踏まえたり、資料や機器を用いたりして、自分の考えが分かりやすく伝わるように、表現を工夫することができる。</p> <p>○表現の効果や文章構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。</p> <p>▲目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。</p> <p>▲読み手の立場に立って、表記を確かめて文書を整えることができる。</p> <p>▲文脈に即して、漢字を正しく使うことができる。</p>	<p>□ 漢字の音訓を意識し、同音異義語などの意味の違いに注意するなどして、漢字を正しく使うことができるようにする。</p> <p>□ 記述式には、おおむね正答できているが、接続する語句や指示する語句を用いるなどして、伝えたい事柄とその根拠がを適切に結び付けたり、事実や事柄を具体的に示して書いたりできたかを検討し、改善できるようにする。</p>

<p>小学校 算数</p>	<p>全国平均を大きく 下回る</p>	<p>○平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて、平行四辺形を作図することができる。</p> <p>○台形の意味や性質について理解している。</p> <p>▲基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述することができる。</p> <p>▲分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる。</p> <p>▲数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分としてとらえたり、異分母の分数の計算をしたりすることができる。</p> <p>▲伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。</p>	<p>□ 異分母の分数の加法や減法の計算について、通分の意味を理解するとともに、その計算が確実にできるようにする。数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解が深まるようにする。</p> <p>□ 日常生活において、ある一つの数量を調べようとするとき、その数量を直接調べるのが難しい場合は、関数の考えを用いて、その数量と関係のある他の数量を見いだすことができるようにする。</p>
<p>中学校 数学</p>	<p>全国平均を大きく 下回る</p>	<p>○証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすことができる。</p> <p>▲「素数」・「相対度数」・「多角形の外角」など数学用語の意味を理解している。</p> <p>▲数量を文字を用いた式に表すことができる。</p> <p>▲目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>▲不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。</p> <p>▲統合・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を評価改善することができる。</p> <p>▲ある事柄が成り立つことを構想に基づき証明することができる。</p>	<p>□ 用語の意味の理解に課題が見られる。用語を活用して表現する機会を充実させていく。</p> <p>□ 表・式・グラフなど、どのように用いればよいかなど問題解決の見通しがもてるようにする。</p> <p>□ 条件を変えた場合の証明を考える際には、元の証明を図と関連付けて読みながら、元の証明のどこを変えればよいのか検討し、証明できるようにする。条件を変える前と変えた後を比べて、考察できるようにする。</p> <p>□ 命題や事柄が常に成り立ちとは限らないことを反例をあげて説明できるようにする。</p>

<p>小学校 理科</p>	<p>全国平均を上回る</p>	<p>○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、「結果」や「問題に対するまとめ」を基に、他の条件での結果を予想して、表現することができる。</p> <p>○電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることの知識が身についている。</p> <p>○発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる。</p> <p>▲水の温まり方について、観察実験の方法適切であったかを検討し、表現することができる。</p> <p>▲水が氷に変わる温度を根拠にオホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができる。</p>	<p>□ 加熱しなくても水が蒸発する場面を生活の中から探したり、その場面と水が沸騰する場面との差異点や共通点を整理したりするなど、楽手内容を生活と関連付ける活動を設けるようにする。</p> <p>□ 国語でも同様の課題がみられたが、学習のまとめや記録を表す際に、学習した内容と、予想したことや考察したことを、線でつないだり、丸や四角で囲んだりして、関連付けながら表現する場面と設定し、表現の仕方について共通理解を図るようにする。</p>
<p>中学校 理科</p>	<p>全国平均と同程度</p>	<p>○身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定することができる。</p> <p>○水の中の生物を観察する場面で、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身についている。</p> <p>○科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目し振り返りを表現できる。</p> <p>▲電熱線で水を温める場面で、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が見についている。</p> <p>▲塩素の元素記号を問うことで、元素記号で表すことに関する知識及び技能が身についている。</p>	<p>□ 今年度より、理科に関して問題の形式が CBT 方式で、タブレットによる回答となった。事前の対策として、文科省からのプレ問題に取り組むこともでき、当日はスムーズに取り組むことができた。</p> <p>□ 日常生活や社会情勢の中で、生徒自身が事象の中に問題を見いだして課題を設定する、科学的な探究の過程を通して、思考・判断・表現することが求められていた。実験に際して、火傷の応急措置などについても出題もあり、技能面に関しても、確認していくようにする。</p>

◆学習状況調査（学校や家で勉強や生活の様子）の結果から ※特徴的な部分のみ

	特徴的な傾向（全国と比べて高い○ 小中共通して高い☆ 低い▲）	今後の取り組み
小学校	☆ 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。 ☆ 人が困っているときは、進んで助けていますか。 ☆ 学校に行くのは楽しいと思いますか。 ○ 地域や学校をよくするために何かしてみたいと思いますか。 ○ 問題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 ○ 友達との話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができましたか。 ☆ 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決法を決めていますか。 ○ 先生は、あなたのうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらできるようになるか教えてくれますか。 ▲ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 ▲ 算数の学習で小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか。	◎ 学校が楽しく、先生や友達関係も良好である。学校や地域をよりよくするために、自分たちができることは何かを主体的に考え、実践に結び付けることができている。 ● 生活リズムの改善を図る。教科では算数への意欲を高めていきたい。
中学校	☆ 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか。 ☆ 人が困っているときは、進んで助けていますか。 ○ 将来の夢や目標を持っていますか。・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。 ☆ 学校に行くのは楽しいと思いますか。 ○ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。 ○ 分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学ぶ方を考え、工夫することはできていますか。 ○ I C T機器で、文章を作成したり、情報を収集したり、プレゼンを作成したりすることはできると思いますか。 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 ☆ 学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決法を決めていますか。 ○ 学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。（国・数・理全て高い） ▲ 学習内容について、分かった点などを見直し、次の学習につなげることができている。 ▲ 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	◎ 良好な人間関係の中で、主体的、対話的な学習が展開されている。今後もその活動の充実を図る。 ◎ I C T機器を活用した学習に自信をもって取り組んでいるので、より日常的な活用を推進していく。 ● 単元のゴールを意識した連続性のある学びを展開し、表現活動として十分にアウトプットできる場を設定する。

◆教育委員会として、結果を公表し、町民と学習状況についての共通理解を図り、学校と連携しながら課題の解決を図る。

◆これまでの施策について検証し、教育環境や教職員研修の充実を図る。町教育センターの取り組みとして学力向上対策を盛り込み、実施していく。